

第27回国際医療質学会参加及び紹介

조연희 (チョヨンヒ) 代理
健保審査評価院評価室



1. はじめに

第27回国際医療質管理学会 (ISQua:International Society for Quality in Health Care)が全世界 67ヶ国家で約 1,100人の保健医療関係者が参加した中で 2010年 10月 10日から 13日までフランスのパリで開催された。

参加者は保健医療サービスの質向上活動、質評価事例及び関連情報を共有し、500以上の主題発表が行われた。

今回の学会の主題は「質成果:患者の質向上達成(Quality Outcomes :Achieving Patient Improvements)」であり、そのプログラムの重要内容を紹介する。

2. 学会プログラム

国際医療質管理学会のプログラムは大きく二部分に分けられる。

一つの部分は、学会の本格的な日程が始まる前日に実施された Pre-conference program であり、他の部分は 10の小主題別の内容に対して発表する Main conference programである。

Pre-conference programは指標(患者中心指標)、認証シンポジウム、リーダーシップと質評価システムという主題で 1日間行われた。

Main conferenceは 3日間進行され、「Quality Outcomes : Achieving Patient Improvements」という主題と 10個の小主題に対する発表及び討論が行われた(表1)。



3. 小主題別内容

今回この学会で扱われた内容を小主題別に簡略に整理すれば次のようになる。

表1. 主題内容

Pre-conference program		指標 (患者中心指標) 認証シンポジウム	
Main Conference	基調講演		
	併行セッション	政府とリーダーシップ	
		外部評価システム	
		保健情報技術	
		患者安全	
		教育及び文化	
		患者経験	
		保健技術評価	
		質評価システム	
		指標と結果	
統合された資料と質評価			

ガ. 管理体系とリーダーシップ (Governance and Leadership)

国別に医療サービスの質向上と患者結果の向上を導いた管理体系とリーダーシップの役割及び活動について紹介された。

ナ. 外部評価システム

WHOの患者安全カリキュラムガイドと患者安全を増進する High 5s プロジェクト、ヨーロッパの多くの国の癌患者の質向上に対する活動が紹介された。

㉔. 保健情報技術 (Health Information Technology)

患者安全管理のための有害な薬物事故防止と報告、健康情報技術の障害に由来する患者安全欠陥、オーストラリアの質向上のための先導的 e-Health 遂行、電子医務記録(患者安全と臨床的作業量に対する影響)、病院来院予測システム遂行、健康情報技術政策などの内容が発表された。

㉕. 患者安全 (Patient Safety)

患者安全を増進するための仲裁は適切で使い易くしなければならない。世界保健機構 (WHO) では世界の 8病院を対象にチェックリストを利用した研究を施行した結果、手術安全チェックリストを利用して余病である感染率などを低める効果を得たことが報告された。

㉖. 教育及び文化 (Education and Culture)

患者安全と質教育の知識への接近方法に対する討議、一般病院勤務者の患者安全教育認識に対する研究、どうして向上がそれほどに難しいか?、WHOの患者安全教育課程案内の初期配布による効果、喘息患者管理における薬剤師共同体教育仲裁の影響等が発表された。

㉗. 患者経験 (Patients Experience)

患者中心診療のために病院では患者の経験を重要視して彼らの家族と患者が願う医療の質を伝達するために努力している。イギリスで乳房癌と肺癌の医療サービスを増進するために使用するEBCD (Experience-based Co-design) が発表された。

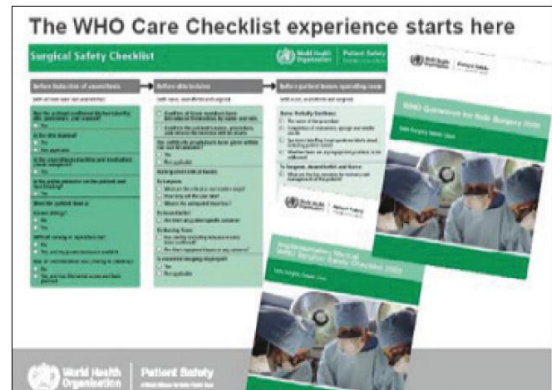


그림 1. WHO 수술안전체크리스트

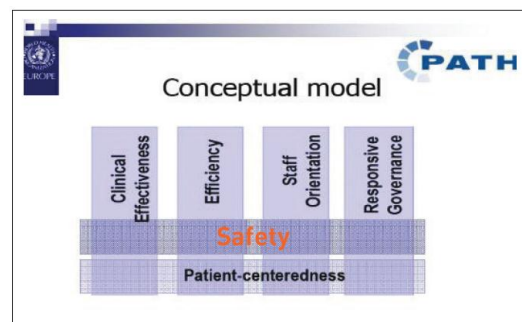


그림 2. PATH model

資料:<http://www.pathqualityproject.eu> Basia Kutryba, Ann lise guisset WHO PATH Project for Hospitals. 2010. 27th ISQua international conference

㉘. 保健技術評価 (Health Technology Assessment)

HTAは保健医療サービスの費用効果性、効果性、安全性、効率性を評価するために科学的な根拠を使うものである。

㉙. 質評価システム (Quality System)

WHOではヨーロッパの病院を対象に PATH (Performance Assessment Tool for quality improvement in Hospitals) プロジェクトを実施している。PATHは質向上のための計画、自分の結果に対して疑問の提起及び質改新のための活動を遂行する病院を支援するためにWHOによって考案された成果評価システムである。病院成果評価計画案は全世界的に開発されている。

このPATHシステムは6分野 (clinical effectiveness, efficiency, staff orientation, responsive governance, safety and patient centeredness) で構成された体系範囲内で病院成果にさらに包括的な接近方式が財政的な成果 vs 臨床的な効果性のような伝統的で専門的分野を飛び越えた。

㉚. 指標と結果 (Measurement and Outcome)

手術で医療の質を向上する手術点数カード、患者安全と件数との関係、薬物副作用統制で安全統合指標の妥当性、低所得国々で医療質の結果を向上すること、再入院率、患者安全のための国家的な分類体系開発、脳卒中と急性心筋

梗塞症に対する統合された治療結果向上を成したことなどが紹介された。

査. 統合された治療と質管理 (Intergrated Care and Quality Outcome)

統合された慢性疾患管理、アメリカで患者中心のメディカルホーム、急性心筋梗塞症で適正時間内に再灌流術を実施するための努力、慢性疾患管理で各国の差異などが発表された。

4. おわりに

現在まで国際医療質管理学会は医療サービスの質向上のために世界各国の保健医療関係者が集まって関連情報を共有して討論しながら包括的な国家別統合評価システム構築のために接近している。

ここで韓国の効果的な医療サービスの質向上活動及び評価事例を紹介する。

第28回学会は“Patient Safety(患者安全)”に関して2011年9月14日から17日まで開かれる予定である。次学会の時には関連機関たちの積極的な関心で我が国の制度をさらに活発に紹介する機会になることを期待している。

ISQua(国際医療質管理学会) の紹介

- 全世界の保健医療関係者が医療の質向上のために作った世界最大規模の営利独立機構で現在、構成員は北米、ヨーロッパ、アジア/太平洋地域になっている。
- 本部：オーストラリア メルボルン
- 目的：医療の安全成果、質向上を図る。
- 開催周期：毎年1回
- ホームページ：www.isqua.org